

○ 小山町

おやま

No. 143

2015/8月1日号

町議会だより

発行：静岡県駿東郡小山町議会

7月10日 富士山須走口開山式
小山町観光協会主催でパレードが実施
され、須走旅館組合などにより富士罫が
再現されました。



5月臨時会
6月定例会

新たな議会構成決まる 02

ふるさと寄附への返礼始まる 04

・9人が一般質問 町政のここが知りたい 06

・3つの特別委員会を設置 15

・新企画「わたしの金太郎」 16

議会構成決まる



議長
米山千晴
64歳 3期目
自由民主党
(新生会)

この度の議会において、議長に選出されましたことは、誠に身に余る光栄であり、その責任の重大さを痛感するとともに、身の引き締まる思いであります。

私たち議員を取り巻く情勢は、地方分権社会を真のものとするため、議会の果たすべき役割と責任は、以前にもまして重くなつてきております。議会での議論をより活発化するとともに、住民に親しまれ、信頼される議会を目指し、全力を傾注してまいります。

現在、小山町は「内陸のフロンティアを拓く取組」により、定住人口や雇用の増加等を目指し、様々な施策が進められております。議会としても、議員一丸となり、その取組に対し調査研究し、町の実像のため誠心誠意努力して参ります。



副議長
池谷弘
63歳 2期目
無所属
(おやまの会)

このたびの副議長就任に際し、その職責の重さを痛感するとともに身の引き締まる思いがいたします。この小山町を元氣な町にするため、微力ながらこの要職の立場で全力を傾注してまいります。さて本年は新東名の建設や内陸のフロンティアを拓く取組等、将来の小山町の動向を決めていくような事業推進が図られていきます。その一方、少子高齢化や人口減少対策も待ったなしの状態です。副議長として、これら問題に対し議長を補佐しながら議会のまとめ役として真摯に対応して元氣な小山町にすることにより町民の負託に応えていく所存です。今後とも議員各位はもとより、町民の皆様のご協力をお願いし、あいさつとさせて頂きます。

任期満了に伴う町議会議員選挙が行われ、
13人の新しい議員が決まりました。
5月15日には、平成27年第2回5月臨時会が開催され、
正副議長の選挙等を行いました。
その結果をお伝えするとともに、各常任委員会委員等を紹介します。

新たな



池谷 弘 (68歳)
2期目
無所属(おやまの会)



真田 勝 (69歳)
5期目
無所属(新生活会)



梶 繁美 (69歳)
4期目
自由民主党(新生活会)



阿部 司 (67歳)
2期目
無所属(おやまの会)



高畑博行 (68歳)
2期目
日本共産党



遠藤 豪 (68歳)
1期目
無所属(おやまの会)

総務建設委員会

町長戦略課、総務課、未来拠点課、おやまで暮らそう課、税務課、建設課、農林課、商工観光課、
FC支援課、都市整備課、上下水道課、各支所、会計収納課の分野を審議します。



込山恒広 (68歳)
4期目
無所属(新生活会)



池谷洋子 (64歳)
4期目
公明党



蘭田豊造 (69歳)
2期目
無所属



鈴木 豊 (63歳)
1期目
無所属(新生活会)



佐藤省三 (68歳)
1期目
無所属(おやまの会)



渡辺悦郎 (63歳)
2期目
無所属(おやまの会)

文教厚生委員会

子ども育成課、生涯学習課、住民福祉課、健康増進課、防災課、小山消防署の分野を審議します。

地方自治法で定められた議会選出の監査委員です。
込山恒広

議会選出監査委員

副議長 梶 繁美
議員 鈴木 豊
" " 高畑博行
" " 渡辺悦郎
" " 真田 勝

ごみ処理場・消防署・斎場など御殿場市と広域で行っている事業を審議する議会です。御殿場市議会議員7名、小山町議会議員5名で構成されています。

御殿場市・小山町 広域行政組合議会議員

委員長 真田 勝
副委員長 鈴木 豊
委員 遠藤 豪
" " 阿部 司
" " 渡辺悦郎
池谷 弘

議会運営委員会

議会を円滑・効率的に運営するため常任委員会とは別に設置されます。



～平成27年第3回6月定例会 ピックアップ～

寄附への返礼始まる

平成27年第3回6月定例会が、6月4日から19日まで16日間の会期で開催されました。



ふるさとチョイスホームページ

収入	ふるさと寄附金	1,000万円
支出	ふるさと振興事業費	505万円
	上記の内訳	
	・ふるさと振興事業(返礼品)	480万円
	・ふるさとチョイス利用料	3万円 ほか

地域産業の活性化を目的に 補正予算を可決

9月1日からお礼の品を贈呈

地域産業の活性化等をはかることを目的に、小山町へふるさと寄附をされた方に9月1日からお礼の品を贈呈する事業費が補正予算で可決されました。

Q 昨年9月の時点では返礼はしない方向であったがここで実施する理由は、また、歳入と歳出の金額の根拠は。

A 税制改正、産業振興、財源確保の観点から行います。収入に対して約40%の返礼品を見込んでいます。

その他主な補正予算

収入	収入	より北郷支所に印刷機を 購入
県補助金	263万円増	
総務費等寄附金	188万円増	これも園・学校備品等
綱山五徳会、丸善食品工業からの寄附金	98万円増	丸善食品工業からの寄附により小学校へ図書を購入ほか
支出	支出	小学校施設整備費
農林振興費	263万円増	130万円増
認定農業者の農業用機械購入に対する県からの補助金		須走小学校給食棟洗浄室の床を修繕
北郷支所備品	84万円増	採決の結果、全員賛成で可決
綱山五徳会からの寄附		

宅地完成事業補正予算

収入	収入	事業債	7000万円
支出	支出	宅地完成費	7550万円
Q 市街化区域内の一般用地(農地)を町が取得し宅地完成することについて町の考えは。	A 町内では民間宅地開発が少ないこともあるが、町が宅地分譲する際は、民業圧迫にならないよう民間開発の誘致と併せ行っていくます。	全員賛成で可決	

健康福祉会館改修工事 契約を議決

白幸産業株式会社が2億7000万円で落札

健康福祉会館の改修工事請負契約を締結することにより、全員賛成で可決しました。

今回の改修工事は、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律(いわゆる防衛8条)の民生安定施設整備事業の助成を受けて実施されます。

主な改修内容は、各室の改修、外壁タイル補修、太陽光発電設備の設置、空調設備改修、駐車場等外構整備です。7月から28年3月までの改修予定となっています。

議会としては、今後の健康福祉会館活用方法などについても意見を交わしていきます。



工事が始まった健康福祉会館窓口

常任委員会 報告

● 総務建設委員会

委員長 遠藤 豪

● 文教厚生委員会

委員長 渡辺悦郎

総務建設委員会は付託された4議案について6月11日審査を行い、いずれも全員賛成で原案のとおり可決した。主な内容は次のとおり。

文教厚生委員会は6月12日開催され、付託案件は全員賛成で可決した。主な質疑・答弁内容は次のとおり。

平成27年度一般会計補正予算(第1号)

平成27年度宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)

平成27年度小山町一般会計補正予算(第1号)

Q ふるさと納税に関して、各自治体は寄附金の額によって返礼品の種類が異なるが、町はどのような形をとるのか。
A 具体的な返礼品などは検討中ですが、寄附金の額によって区分し、返礼品を贈りたいと考えています。
Q インターネットを活用しアピールすることが効果的と思うが。
A 「ふるさとチョイス」というふるさと納税専門のポータルサイトを利用することで全国的にPRし、併せて「ヤフー公金」についても準備を進めています。

Q 町が分譲していく宅地の数の目標数は。
A 目標数値は特にありません。
Q 7千万円の起債をかけるているが、今後もすべて起債を起すのか。
A 起債を起す事業は限定的に実施します。
Q 町が宅地造成することは一般宅地業者の締め付けにならないか。
A 民業圧迫にならないように民間と同じルールに則り、民間開発を誘導しながら限定的に実施します。
Q 学校茶文化推進事業費県補助金の事業内容と対象の中学校は。
A 県が日本茶文化を各中学校に広めていこうとするものです。27年度は北郷中学校で日本茶インスタラクターを招き講義や実技を行います。
Q 保育園費修繕料、備品費の詳細は。
A きたこうこども園で1歳児の部屋に午睡のためアコーディオンカーテンを設置します。また、綱山五徳会様からの寄附金で、きたこうこども園に太鼓4台を購入します。
Q 小学校管理費備品購入費の校用器具とは。
A 綱山五徳会様からの寄附金で北郷小学校に電子オルガン、大型紙芝居シアター、収納ケースを購入します。
Q 体育協会助成金の内容は。
A 市町対抗駅伝競走大会の出場経費に充てます。



健康福祉会館を視察

平成26年度 繰越計算書等の報告

① 繰越費繰越計算書
 ※町が行う事業で数年間にわたる建設事業などを事業費総額、期間、各年度支出額を定め支出をしていく経費
 ・町道3975号線橋梁及び道路整備事業(平成25〜27年度)
 ・町道3975号線道路整備事業(一色工区)(平成26〜28年度)
② 繰越明許費繰越計算書
 ※様々な事情により、翌年度引き続き行わなくてはならなくなった事業の経費
 ・湯船原地区工業立地詳細調査
③ 事故繰越繰越計算書
 ※すでに契約した事業が、突発的な理由により予算の繰越しをしなければならなくなった経費
 ・石沢排水路測量設計業務委託
 ・内陸のフロンティアに係る地下水開発検討業務委託
 ・湯船原地区水源調査及び揚水試験等業務委託
 ほか合計10件



町道3975号線橋梁工事現場

教育委員会委員の同意

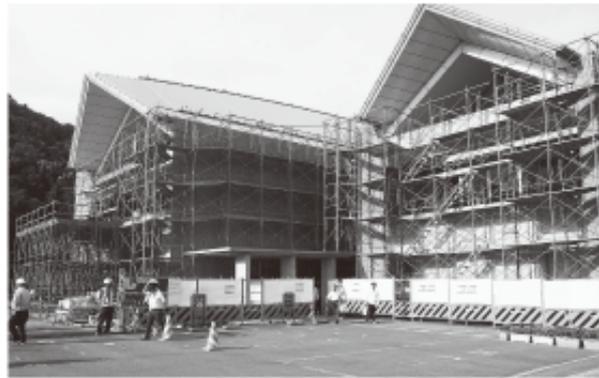
小山町教育委員会は天野教育長及び4人の委員で構成されています。委員の任命には議会の同意が必要です。
 4人の委員のうち、稲恵子さん(竹之下)が任期末を迎え、再任することに全員賛成で同意しました。任期は、平成30年9月30日まで。

一般質問に9人が登壇 町政のここが知りたい

一般質問
(代表質問)



梶 繁美
(新生会)



健康福祉会館リニューアル工事始まる

健康福祉会館リニューアル後の活用方法は 地域の皆様の意見を反映し交流の場とします

健康福祉会館は、平成28年4月からリニューアル開業となる予定だが、ハード整備だけでなくソフト事業においても期待するところ

である。今後の活用方針について何う。

健康福祉会館のリニューアルについて、改修設

計に地域住民の声をどのように反映したか。

町長

成美地区の区長様に、工事の趣旨と主な内容について説明し、ご意見をいただきました。また、成美地区のサロンで提案されたリラクゼーションルームやヨガスタジオ、カフェスペース

等への改修や子供が遊べるふれあいルームの修繕を設計に反映しました。

町長

高齢者の介護予防に役立つような運動や交流ができるような具体的な活用方針はあるのか。また、新たな事業は検討されているのか。

町長

3階は、リラクゼーションルーム、ヨガ・ダンススタジオに改修し、カフェスペースを併設し、介護予防体操やダンス等のビデオを見ながら気軽に運動できる居心地の良い交流の場とします。

温泉無料入浴券等の配布方法の改善はできないか 施設の拡充等により、無料券の利用拡大に努めます

70歳以上の高齢者に温泉無料入浴券とパークゴルフ場利用券が配布されている。

高齢化が進展する中、高齢者からは温泉に行きたくても足がなく利用できない。パークゴルフは全員がやるわけではないとの声が多く聞かれる。

以前のよう敬老祝い金として、高齢者全員に給付することはできないか。

町長

敬老祝い金は、平成20年度に制度を見直し、米寿、白寿、100歳の方に祝いを贈呈しています。一方、町の活力を維持し、高齢者が健康で積

極的に社会参加していくため、温泉無料入浴券等を敬老のお祝いとして考えています。

町長

平成26年度の温泉無料入浴券等の利用率は51.2%で、年々増加していま

す。27年9月から須走温泉天恵も利用できるよう調整を進めています。今後も、施設の拡充や利用方法を検討していきます。

※ほか、「食品トレイの拠点回収の改善について」質問しました。

一般質問
(代表質問)



池谷 弘
(おやまの会)



次世代施設園芸の施設整備が進む(上野)

Q 小山町長の施政方針(3つの挑戦)を問う A 小山町の挑戦を紹介します

町長も我々議員も元気な小山町を作っていくという強い決意と未来の小山町の為の活動をしていく同じ志を持つものとして質問する。

Q 「三米拠点事業」を行うことで、事業効果はどのようなになるか。

A 町長 三米拠点事業により、優良企業を誘致し、雇用の場と定住・観光政策により賑わいの場を創出し、定住人口と交流人口を増やします。

Q 国や県に対して、どのような働きかけを行っているか？また、現在の進捗状況は。

A 町長 小山P A周辺地区、湯船原地区、足柄S A周辺地区、富士小山わさび平地区、南藤曲地区の計5地区が、静岡県内陸フロン

ティア推進区域に指定され、県の補助事業で調査を行っています。湯船原地区では、農林水産省の「次世代施設園芸導入加速化支援事業」や県治山事業による石沢排水路の整備を推進し、足柄S A周辺地区ではスマートインターチェンジ設置に向けた調整等を行っています。その他、国道246号の4車線化も要望しています。

Q 「三米拠点事業」全体あるいは各事業にどのくらいの経費を見込んでいますか。また財源は。

A 町長 各フロンティア推進区域での民間活力の採用、国庫・県費補助金に加え、起債等を最大限に活用していきます。

Q 街なかに賑わいを創出できるような、夢ある滞在型の観光推進体制の具体的な施策は。

A 町長 小山町観光振興計画に基づき、富士山の秀でた景観と豊かな自然環境に囲まれた立地の優位性を活かして、リゾート宿泊機能をもつ施設の誘致を積極的に取り組んでいきます。

Q 小山町の特性を生かした起業支援や就職支援、それに伴った若者の定住人口増加に向けた考えは。

A 町長 町への移住・定住を促進するため、不動産物件情報や、起業・就職支援、結婚、出産、子育て、教育、生涯学習などの情報ウェブサイトを9月中旬に開設予定です。移住・定住に欠かせない起業・就職支援について、コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスに特化した支援をすることで人口増加へ「オールおやま」で取り組みます。

Q 取りざたされている

富士山噴火での予想される風評被害への対策検討は。

A 町長 観光客等へ、あらゆる情報手段を活用して、「正しい情報」を「正しく迅速」に伝達し、安全を確保することが、風評被害の抑止になると考えています。

Q 小山町の未来を切り開く小山町総合戦略及び総合計画後期計画の策定に向けた基本的な考え方は。

A 町長 総合計画と地方創生総合戦略は、策定根拠や趣旨が異なるため、一本化して策定はしませんが、整合を図り、町民や議会に對し分かりやすい説明をしています。



運用を終えたRDFセンター（桑木）



鈴木 豊
(新生会)

Q 足柄サービスエリア周辺の土地利用構想は A 地権者協議会を設立し土地利用を推進します

足柄のまちづくりの一大事業の足柄サービスエリア周辺の土地利用構想について伺う。

明会を開催し、事業進捗に向け、本年7月に、地権者協議会を設立します。

足柄サービスエリアスマートIC計画の御殿場市との連携の進展は。また、

国交省の認可はいつ頃か。

足柄サービスエリア周辺の土地利用構想の経過と進捗状況はどうか。

御殿場市及び隣接する深沢区への説明会を計3回開催し、同意をいただき

平成25年度から地元地権者等に対し計7回の説

明会を開催し、事業進捗等について伺います。

旧桑木RDF跡地の土地利用計画の進め方は。進めていく上の課題は。

旧桑木RDFの取り壊しの時期と経費はどの程度か。

Q 町指定文化財に保存基金の制定を A 基金の設置に向け検討します

文化財の管理や修理に 関し、文化財に対し理解のある個人や団体もしくは企業から寄附金を募り、基金の制定をする考えは。

文化財の管理や修理に

文化財に対して理解のある個人、団体または企業からの寄附金を募り、基金を制定することは、町の財政状況の厳しい中、文化財の保護等の有効な手段と考えますので、基金の設置に向け検討します。

小山町の指定登録文化財の数と学区別の状況は。

学区が6件、足柄学区が4件、北郷学区が5件、須走学区が7件です。

町内には現在、32件の指定文化財及び登録文化財があります。その内訳は、

指定文化財が24件、登録文化財が8件です。学区別では、成美学区が10件、明倫

学区が6件、足柄学区が4件、北郷学区が5件、須走学区が7件です。

町指定文化財の保存基金を制定することに



園田豊造



駿河小山駅前の賑わいを

Q 広報おやまの4月号の記事は A ハイキングへの安全啓発等のため活動を紹介

社会通念というフィルターを通すと27年4月号の「広報おやま」のあり方にはいろいろな疑義があります。

Q 発行に際しての留意点は。

Q 広報おやまを発行する目的は。

A 町長戦略課長
行政・生活情報を確実に町民に提供ができる有

A 町長戦略課長
レイアウトの工夫や写真の有効活用を行い、わかりやすく読みやすい広報紙を心がけています。町民

A 選挙管理委員長
3月末の時点では、公職の候補者となろうとする者にあらず、記事も選挙

Q 4月号には岩田さんを取り上げたが選挙という意識はなかったのか。公選法に抵触は、便宜供与の点は。

A 町長戦略課長
ハイキングに対する安全啓発や豊かな自然の再認識を図るために掲載しました。

Q 町より告発され実刑判決を受けているのに取り上げた整合性は。

や団体などを紹介し、相互理解や活性化に繋がるよう努めています。

運動に関連していないため公職選挙法に抵触しないと考えます。

Q 町長の政治姿勢について A 小山地区に交流・賑わいの場を作っています

政治家にとって政策の実現にはその心が大切だと思います。どのような精神を持って実現に当たるのか伺う。

Q 町長の政治哲学は(思想・信条)

A 町長
一般論として政治哲学に

ついて見解を述べよ、とのことですが、政治哲学は哲学的な立場から政治を研究するものであり、現代では、功利主義、福祉国家の思想、自由至上主義、共同体主義の4つが主な潮流だそうですね。一般論としてはこの

ことであり、見解を申し上げます。また、健康福祉会館

Q 町民を慈しみの心で見守っていただけると思うが、そうした中で小山地区の再生は喫緊の課題だと思ふ。どのような計画で対処を計るのか。

A 町長
JR駿河小山駅周辺の賑わいの創出に取り組んでいます。また、健康福祉会館

をリニューアルして、健康づくりの拠点と共に多世代交流の場として活用します。金時公園に子どもたちが遊べる遊具やカフェスペースを設け交流と賑わいの場を作っています。さらに地域別金太郎計画の推進協議会の実施事業を支援していきます。

また、健康福祉会館



計画的に修繕された町道3866号線(須走)



高畑博行

Q 生活道路である町道の補修を A 緊急対応及び計画的な維持修繕に努めます

4月に行われた町議選でも、町民の皆さんから寄せられた要望の多くに道路問題があった。問題の個所を見ると、穴だらけ・ひびだらけだったり、歩道や路側帯に問題がある箇所がいくつもある。そこで、町道の補修について質問する。

果に基づいて舗装長寿命化計画を策定し舗装の維持・修繕に努めています。

Q 前年度、穴あき補修に關して区からの要望件数は何件あり、どの程度解決できたのか数字を挙げて示してほしい。

Q 既存の生活道路である町道の傷み具合をどう把握しており、補修の必要性についてどう考えているのか。

A 町長

生活道路等は、道路パトロールや町民の方々の情報から、損傷等の状況について確認を行い、緊急を要する案件は迅速な対応をしてきました。なお、平成27・28年度の2ヶ年で交通量の多い57路線を道路ストック総点検事業として舗装点検を実施し、その結

果に基いて舗装長寿命化計画を策定し舗装の維持・修繕に努めています。

Q 町道補修は一度にできるものではない。町としては、長期的な計画をどのようにもっているのか。

Q 町道の簡易舗装は、歴史的にみて何年ごろにやった工事が多いのか。また、それらは既に耐用年数を迎えているのか。

A 建設課長

毎年度、舗装は実施しておりますが、どの年度が多いと一概には言えません。また、アスファルトの法定耐用年数は10年であることから、その年数以前に舗

設しているものが、法定耐用年数を迎えていると考

Q 町道の総点検(無理なら主要道路だけでも)をすべきではないのか。

Q 町道の簡易舗装は、歴史的にみて何年ごろにやった工事が多いのか。また、それらは既に耐用年数を迎えているのか。

A 建設課長

その結果に基づいて舗装の予防的な修繕及び計画的な舗装の更新を実施します。



日常の道路点検の中でも修繕作業が行われる



池谷洋子



読書通帳導入で利用者増加を(町立図書館)

A Q 18歳まで医療費の助成推進を！ 県の補助制度の変更に検討します

18歳まで医療費の助成

をとの声を聞きます。近

隣の御殿場市がすでに導

入していますが子育て支

援の更なる充実は不可欠

です。子育て世代の若い夫

婦が一番幸せであるはず

なのに一番苦しいのが現実

ではないでしょうか。本町

独自の上乘せの思い切っ

た子育て支援を実施すべ

きと考えます。

若いお母さん方の会合

に行くこと決まると出る話

題は「どの地域が一番子

育てしやすいか」です。

制度拡充の場合、対

象者はどれ位増えるか。

健康増進課長

子ども医療費の助成対

象を18歳まで拡充した場

合、16歳が161人、17歳

が190人、18歳が189

人で、合計540人増えま

す。

18歳まで医療費の助

成は。

町長

この助成制度は、県内35

市町中、30市町が町と同様

に対象年齢を中学生まで

としています。県では、自己

負担金の徴収を補助基準

として規定していますが、

町では徴収していません。

さらに、入院時の食事療養

費標準負担額を助成対象

に加えています。拡充につい

ては、県内の動向を注視

し、県の補助制度の変更に

を検討します。

A Q 「読書通帳」の導入を！ 読書通帳を導入し読書意欲の向上を図ります

近年、活字離れが指摘

される中、子どもに読書に

親しんでもらう取り組み

の一つとして「読書通帳」を

導入する動きがあります。

「読書通帳」とは借りた本

の記録が預金通帳のよう

に記録されるもので、読書

履歴が一目でわかり子ども

の読書意欲が高まります。

つまり読んだ本の履歴が

貯まる楽しさが増えると

共に図書館に足を運び読

書のきっかけを作ること

にもなります。また、利用

者や貸出冊数の更なる増

加にもつながると期待し

ます。

「読書通帳」の導入と

読書意欲向上策について

何う。

町長

現在、町立図書館は、指

定管理者による管理運営

を行い、更なる住民サービ

スの向上を目指していま

す。9月末には現在使用し

ている図書館システムの保

守期間が終了することか

ら、指定管理者の提案によ

る図書館システムの更新に

併せ、機械で印字できる

「読書通帳」システムを導入

します。子どもたちの心

身の発達に読書は欠かせ

ないものであるため、シス

テムの導入により、読書意

欲が向上することを期待

しています。



整備された鎌倉往還(須走)



渡辺悦郎
(おやまの会)

Q 鎌倉往還や足柄古道の整備計画は A 仮称「トレイル整備隊」による維持管理に努めます

近年のハイキングブームもあり町を訪れるハイカーも増加し、J・Rと連携した企画もあるが、町には鎌倉往還や足柄古道などの歴史と自然を満喫できるようなコースもある。

交番前から一本樺までの区間は荒廃し危険な状況である。今後の整備計画は、

理に努めていきます。
足柄古道は、「足柄史跡を守る会」等との連携で

いる。仮称「トレイル整備隊」を結成して頂き、ハイキングコースの積極的な維持管理に努めていきます。

鎌倉往還のルートの詳細や実態が把握できませんので、現状ではハイキングコースの整備は考えていませんが、この道を利用される方々のために、歩行には支障のないよう維持管

理に努めていきます。
足柄古道は、「足柄史跡を守る会」等との連携で

ある程度整備はされているが、今後の整備方針は、

整備を委託している各種団体だけでは対応しきれない箇所もあるため、今後はボランティアを募り、修繕等の維持管理をお願いします。

鎌倉往還では、富士山周遊ツアーなどに数十名が参加しているが、須走

理に努めていきます。
足柄古道は、「足柄史跡を守る会」等との連携で

ある程度整備はされているが、今後の整備方針は、

整備を委託している各種団体だけでは対応しきれない箇所もあるため、今後はボランティアを募り、修繕等の維持管理をお願いします。

Q 地域商店街活性化の今後の方針は A 商工会と連携し効果的な支援で取り組みます

人口減少により消費が減少、事業収益も減収、経営難のなか商店主の高齢化も相まって廃業されたところもあるようである。かつては、御殿場を遙かに凌いでいた町であり、そこに存在していた商店が廃業することは住民にとって不便と不安を感じる。

町も商工会等と連携し様々な施策を講じてきていることは昨年12月定例会の答弁で理解しているところだが、これまでの事業評価と27年度の取り組みについて何う。

「小山ちよつとバル」や「小山町映画祭」を開催するなど、新しい視点からの商店街活性化対策を行うと共に、「町の職金太郎」の開設による駅前活性化を図る取り組みを行っています。

万円分発行することから、大きな経済効果を期待しています。今後も、商工会と連携してその活動を効果的に支援できるよう取り組みを進めます。

町長
タウンマネージャーを配置し、商店街と協働で

27年度は、20%のプレミアム付きの商品券を6千



阿部 司
(おやまの会)



利便性の向上が期待されるコミュニティバス

Q コミュニティバス等運行の一部修正は可能か A 路線の新設と有料化に向け検討を進めます

私は、今回の後援会活動や選挙活動を通じ小山・所領の一人暮らしで、身体の一部不自由な年配の女性の方々は是非巡回バスを通るようにしてもらいたいとの意見をいただいた。所領を経由し、あしがら温泉に行くバスがなく「この地域の人は、まさに小山町の孤島に住んでいるようだ」という人もいた。年に一度温泉の券をもらってもバスもなく使う事も出来ず、これでは何の意味もない、お金をもらった方が余程助かるという人もいた。

時折、すれ違うバスを見ると全く人が乗っておらず「まるで空気を運んでいるようにもつたない」という人もいる。このようなバスを再度検討し、通っていない路線に振分けて運行する等の必要があると考える。

Q 他の路線に振り分けることで、問題点やネックとなる事項はあるのか。

A 町長戦略課長

路線及びダイヤの変更等は、利便性を低下させない。新たに公共交通空白地域を生み出さないためにも、利用動向を十分に評価・検証して改善する必要があります。

Q 調査運行バスの現在のまでの問題点や利用状況について。

A 町長戦略課長

昨年10月から今年3月までの6か月間において、1日平均23・9人、延べ1819人の方に利用いただきました。利用されている方のおよそ7割が70歳以上の女性、また、8割が運転免許を保有していない方です。調査運行のアンケートでは運行本数の増、小山地区と足柄地区、あしがら温泉を結ぶ路線の拡

大などの要望があります。経費がさらに増えることが問題点であると考えています。

Q コミュニティバス等運行の状況を、何度か現場で確認や視察しているのか。

A 町長戦略課長

役場本庁を拠点として運行している調査運行バスは、乗車状況を見ることができ、そのため、その都度確認しています。また、地域公共交通会議をコミュニティバスや路線バスの時間に合わせて開催し、委員の方に乗車して状況を見ていただいています。

Q 財政や効果・効率性の面から検討する必要があると思われるが現時点での考えは。

A 町長

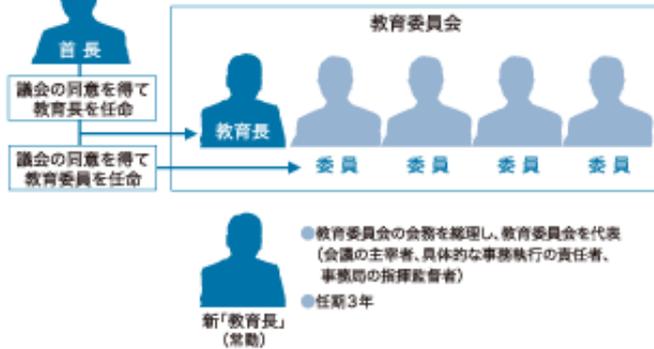
調査運行の検証と成美・明倫・所領地域のアンケート調査を実施して課題を整理・分析し、10月以

降の路線の検討と有料化に向けて、地域公共交通会議において協議します。また、人口減少と公共交通の利用者減少が進む中、公共交通の取り組みだけでなく、まちづくりと一体となった施策を進めていかなければならないと考えています。



今後、検証される調査運行バス

新教育委員会制度イメージ



佐藤省三
(おやまの会)

Q 新教育委員会制度に対する町の対応は
A 教育に関する大綱を平成27年度中に策定します

行政部局からの独立と教育の素人である一般住民の意向が反映することの大切さが教育委員会制度の考え方の基礎となっているように考える。このような中で教育をめぐる様々な課題を、迅速に責任を明確にして解決するため、昨年法律が改正され今年4月1日より施行されることとなった。

Q 教育委員長と教育長を統合した狙い、また、いわゆるレイマンコントロールの考え方など新教育委員会制度の概要及び新旧の相違点、共通点について何う。

A 教育長
今般の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正の目的は、これまでの教育委員会制度が抱えている問題の解決です。
国では課題として、「委員

長、教育長の責任所在のわかりにくさ」、「教育委員会会議の形骸化」、「いじめ等の問題に迅速に対応できない」などが挙げられました。今回の改正では、「新教育委員会制度の創設」などにより、課題解決を実現化しようとしています。

Q 新制度では、総合教育会議の設置及び教育に関する大綱の策定などについて首長の関わりが規定されている。町長は、総合教育会議の取り上げるべき議題、また、教育に関する大綱の策定についてどのように考えているか何う。

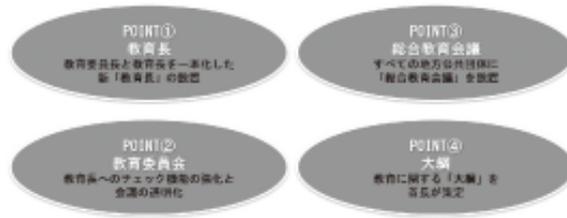
A 町長
総合教育会議では、教育

等に関する総合的な施策についての目標や方針となる「大綱」の策定に向けた協議を行うとともに、教育条件の整備に関する施策、幼児教育・保育のあり方及びその連携、福祉部局と連携した総合的な放課後対策、児童・生徒等の生命または身体に被害が生じ緊急に講ずべき措置などについて協議を行います。

大綱は、私のマニフェストに掲げた「金太郎のようになたくましい子を育てる教育を推進する」ための拠り所となるようなものとしてたいと考えています。策定に当たり、総合計画後期計画や地方創生総合戦略との整合を図り、平成27年度中に策定します。

※レイマンコントロールとは：教育の専門家ではない一般の住民の意向を教育行政に反映していくこと。

教育委員会制度改正ポイント



出典：文部科学省パンフレット

3つの特別委員会を設置

～本会議や常任委員会とは別に継続的な調査・議論をします～

「内陸のフロンティアを拓く取組」推進対策特別委員会
 前任期に続き、町の重大事業として議会も議論する

主な事業

1. 瀬船原地区

「再生可能エネルギーを活用した産業拠点整備事業区域」とし約300haを6つのエリアにゾーニング

① 林業エリア
 ② 食品加工・生産エリア
 ③ アグリインダストリーエリア
 ④ エネルギー開発関連エリア
 ⑤ ロジスティックターミナル
 ⑥ 新産業集積エリア

上下線の足柄SA内にスマートインターチェンジの設置及びその周辺約30haに「豊富な地域資源の体験場所」を検討

5. 富士小山わさび平地区

「優良田圃住宅の促進に関する基本方針」を策定し、平成28年度から約2haのエリアに生活と自然が調和した美しい宅地分譲を目指す

今後も議会として様々な側面から本事業に関わり、町の未来のため活動し決されました。

「小山町内陸のフロンティアを拓く取組」は、町民からの注目度も高く、今後もその事業内容を十分に把握することで、議会としてのチェック機能や町民への説明責任を果たしていく必要があります。そこで、議会では、前任期と同様に「内陸のフロンティアを拓く取組」推進対策特別委員会を議長を除く全議員で組織し、議長はオブザーバーとして参加することを全員賛成で可決しました。

6月4日に第1回特別委員会が開催され、委員長に池谷副議長、副委員長に高畑総務建設副委員長が選任されました。

4. 南藤曲地区

県の「家・庭」体の住まいづくりをコンセプトに「クルドサック16」という名称で宅地造成し、平成27年度から16区画を分譲

今後も議会として様々な側面から本事業に関わり、町の未来のため活動し決されました。

今後、前任期で原案が策定された「議会基本条例」の制定を目指すとともに、更なる議会改革のための活動します。

6月4日に第1回特別委員会が開催され、委員長に池谷副議長、副委員長に高畑総務建設副委員長が選任されました。

2. 小山PA周辺地区

新東名高速道路の小山PAにセミトレーラーまで通行可能なスマートインターチェンジを設置し、約30haに「モータースポーツ関連エリア」「観光土産のエリア」などを検討

今後、前任期で原案が策定された「議会基本条例」の制定を目指すとともに、更なる議会改革のための活動します。

今後、前任期で原案が策定された「議会基本条例」の制定を目指すとともに、更なる議会改革のための活動します。

6月4日に第1回特別委員会が開催され、委員長に池谷副議長、副委員長に高畑総務建設副委員長が選任されました。

3. 足柄SA周辺地区

「RDFセンター跡地」の利用も含めた現東名高速

今後、前任期で原案が策定された「議会基本条例」の制定を目指すとともに、更なる議会改革のための活動します。

今後、前任期で原案が策定された「議会基本条例」の制定を目指すとともに、更なる議会改革のための活動します。



小山PA周辺地区将来土地利用構想図

議会改革調査 特別委員会

地方議会を取り巻く環境は日々変化をしていますが、それらに対応していくための議会及び議員は、研鑽や努力を続けなくてはなりません。

執行機関のチェックなど議会本来の機能を強化し、住民に親しまれ信頼される議会を目指すため、全員賛成で設置が可決されました。

今後、前任期で原案が策定された「議会基本条例」の制定を目指すとともに、更なる議会改革のための活動します。

議会広報対策 特別委員会

今後、前任期で原案が策定された「議会基本条例」の制定を目指すとともに、更なる議会改革のための活動します。

企画

新 わたしの金太郎

町内で小山町を金太郎のように元気な町にするために頑張っている団体・人を議員自ら訪ねてお話を伺います。



消防団に入るきっかけは？

佐藤 現小山町消防団副団長が近所で「地域のために共に頑張ってみないか」と声をかけてくださったのがきっかけです。

今回の操法大会での役割は？

小山町で行われた「平成27年度 静岡県駿東支部消防操法大会」で、ラッパ隊長を務めた佐藤義明さんにお聞きしました。

所属分団は？

佐藤 小山町消防団第1分団に所属しています。

消防団に入って何年になりますか？

佐藤 13年目に入りました。30歳のとき入団しました。

会前は毎晩集まって練習を積んできました。

消防団員として、今後の抱負は？

佐藤 自分はまだまだ不十分だらけの団員ですが、中堅団員として、今後、後輩などに団員としての様々な役割をきちんと果たせるように、繋いでいきたいです。

小山町に期待することは？

佐藤 若者が都会から戻ってきて働ける場所(会社)がほしいですし、活気が戻って元気ある小山町になってくれることを期待します。

小山町議会に対する期待や要望は？

佐藤 若者から高齢者まで、多くの住民の皆さんの声を聞き、政策に反映できるような「風通しのよい」議会であってほしいと願っています。

(聞き手 高畑博行)

9月 定例会開催予定

9月定例会では、平成26年度決算について主に審議し、町の予算執行を確認する重要な議会です。ぜひ、傍聴にお越し下さい。

9月	3日(木)	町長提案説明(決算等)
	4日(金)	補足説明(決算)
	9日(水)	決算質疑
	11日(金)	一般通告質問
	15日(火)	総務建設委員会
	16日(水)	文教厚生委員会
	29日(火)	委員長報告・討論・採決等

いずれも、開会時間は10時を予定しています。開会日・開会時間は決定次第、無線放送でお知らせします。

議会を傍聴してみませんか

●本会議は、会議の当日役場4階議場傍聴席入口で、住所、氏名、年齢、職業を書いてから傍聴できます。定員は29人です。

●常任委員会は、委員会の当日、開始30分前から15分前までに、役場4階会議室入口で、住所、氏名等を書いてから傍聴できます。定員は6人です。定員を超えるときは、抽選となります。

会議録の閲覧ができます

議会日より、紙面の都合により、議員や町長等の発言を要約して掲載しています。

詳しく知りたい方は、図書館等で閲覧できますので、御覧ください。議会日より、町のホームページにも掲載していますので御覧ください。

<http://www.fuji-oyama.jp>

編集後記

新たに5名の議会広報対策特別委員が選出されて初めての議会だよりの発行となります。本年は、新築名建設、内陸のフロンティアを拓く取組の推進や小山町人口減少対策等多くの課題に対応していく年でもあります。新しい感覚で表紙を一新し町民とのインタビュ等を新規に取り入れたりして、親しみ易く理解しやすい紙面にしていくことにより、町民の皆様方に小山町議会の活動が少しでも理解され御支援して頂けるような議会だよりを発行していく所存です。

(記 池谷 弘)

〔編集委員〕

- 委員長 池谷 弘
- 副委員長 佐藤 三
- 委員 高畑博行
- 委員 藤田豊造
- 委員 阿部 司

